

第4回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第1回）

- 1 開催日時 令和5年4月19日（水）午前10時30分～11時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民7名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	社会福祉協議会の引きこもり関係の事業について	私は小金井市社会福祉協議会のひきこもり支援を利用しており、そちらの居場所事業について3点お願いがあります。1つ目は、これらの事業は結果的に健康を増進するものであってほしいということです。2つ目は、福祉職の方が対応していますが、勉強不足であるので、もっと勉強してほしいということです。3つ目は、大学生の実習生がいるのですが、以前に嫌な思いをしたことがあったので、実習生を現場に投入しないでほしいということです。	いただいたご意見を担当課とも共有しながら、課題についてしっかりと向き合っていきたいと思えます。
2	公民館講座の講師謝礼の基準について	公民館事業の企画実行委員会をしており、芸術家やオペラ歌手を呼んで年に1回イベントをやっているのですが、イベントや講演の外部講師の講演料について、ランクが色々あるようで、大学教授だと1時間1万2,000円のところ、芸術家やオペラ歌手の講演料は7,000円と、少ないのではないかと思います。本当に聴かせたいようなアーティストを呼べないです。この規定を変えることはできないのでしょうか。	講演料についてはランクがあり、アーティストは安いのではないかとご意見かと思えます。講演料の規定について変えられないかということですが、私も講演料のランクの細かいところまでは把握できておりませんので、いただいたご意見は担当とも共有をしてみたいと思えます。
3	他自治体の取組への職員の関心について	市の広報にも書いてありましたが、職員はみんな頑張っているけど、今やっていることは本当に市民目線になっているのかなという内容のことが書かれていました。他の自治体がどうやっているのかということをもっと勉強していただきたいと思っていますが、いかがでしょうか。	職員にも色々な状況があり、常に勉強をしている職員がいたり、正直もう業務で手いっぱいになってしまっている職員もいたりして、その辺をどのように整理していくかは考えているところです。ただ、ご指摘いただいたように「他の自治体はどうやっているか」とか、「そのような情報をどうやって主体的に取ろうとするか」というところは非常に大事だと思います。併せて、私が今職員に伝えているのは、外に出て行こうという話です。中のやり方しか分からなければ、そのやり方しか知らないわけです。「他の自治体だったらこうしているよ」みたいなことを情報として受けておけば、小金井市の中でも「ここは何か採用できそうだよ」とか、「ここは変えていけそうだよ」ということにもなるわけです。私としては、他の自治体を参考にしたりして、業務を効率化していくとか、変えていくということを推奨していきたいと考えております。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	多様な集団活動の利用支援事業補助金について	<p>令和5年の4月から始まった新制度だと思っておりますが、小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動の利用支援事業という制度があり、各幼稚園に通わせている家庭に月2万円補助するというものなのですが、今私の子を通わせている幼稚園がその条件に該当しなくて、それがもらえないようなんです。それとは別に、市からは愛育手当というものを頂いていまして、それでもいいかなと思ってはいたんですが、新制度の月2万円と愛育手当の月7,300円に、差が割とあるなというのを感じています。</p> <p>多様な集団活動の支援という名前の制度なので、もうちょっと金額の差が縮められないかなと思います。条件が厳しいので、もうちょっと緩やかな、段階的な条件であればうちの園も条件に該当するのかなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>	<p>市としては、愛育手当があるということで、その制度の枠でスタートするという形での整理をしています。制度の網にかからないといいますが、愛育手当はあったとしても、そこでの差があるということに対して納得感がないというご意見だと思います。まずはご意見として受け止めさせていただきたいと思っております。こういったご意見があったということからまず市内全体で共有するところから始まると思っております。他の自治体も含めて、制度の網がかからない部分に対して何かやっていることがあれば、それを参考にしていくということにもなりますので、一旦ご意見として受け止めさせていただきます。</p>
5	誰でもトイレについて	<p>私はバリアフリープロジェクトというものを始めていまして、「だれでもトイレ」を進めています。以前2005年ぐらいに、市内で60か所ぐらいの「だれでもトイレ」の図面を書いて報告書を出したのですが、それが全然積極的に進まない状況がありました。</p> <p>「だれでもトイレ」というのは、中に必ずベルをつけるというのですが、実際にベルを使ったことがないということが現状なんです。例えば小金井市役所の庁舎にもベルがありますが、誰も使ったことがないと。実際にベルを使ったら何かがぐるぐる回るとか、それを誰がどう聞くのかということが全く理解されていないんです。実際にそれをやったからどうかということも分かっていないということなので、是非ベルをつけてほしいということはもちろん、現在ある公共施設のベルを実際に使ってみるということを必ずやってほしいです。また、そばにいる人に理解させようということであれば、市民にも理解させないと意味がないと思っておりますので、その点もよろしくお願ひします。</p>	<p>ベルがちゃんと稼働するとか、それを鳴らしたときに誰がどう対応するかということも、もしかしたら誰も分かってないんじゃないかという問題提起かと思っております。まずはちゃんと稼働するかどうかのチェック、ベルがついていないところはベルをつけようということ、そしてベルが鳴ったときに誰がどう対応するかというのをちゃんと施設の管理者は分かっているのかということになるかと思っておりますので、貴重なご意見として承りたいと思っております。</p>
6	市内ワーキングスペースについて	<p>私は現在、家の中で在宅ワークをしています。色々な年代の人がいる環境が好きで、シェアオフィス、コワーキングスペース、シェアハウスとか、色々なところを見ました。私としては、美術館とか図書館みたいな雰囲気のところでも構いませんが、そういうところは作業はできるんですが、ミーティングで喋ることができません。市内にしゃべっていても大丈夫な作業スペースがあったらいいなと思うのですが、どうでしょうか。</p>	<p>小金井には公共としてそのような場所が準備できているところがなく、KOTOという、東小金井事業創造センターという施設があるのですが、個室はそのように使えるけれども、個室じゃないところは喋っていると迷惑になったりするのかもしれませんが。市でどこまでできるか、というのはあるのですが、働き方も様々多様化しておりますので、そういった色々な働き方、場合によっては気分を変えて働くということもやはり大事だとは思っておりますので、まずはご意見として受け止めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	保育園廃園問題について	<p>保育園廃園問題の現状はどうなっているのでしょうか。次 どのような形で進むのかなというのがちょっと分かっていない のでそれを聞きたいです。</p> <p>保育園の話に関しては、議会の判断もどうかと思うん ですけども、市民がそれを受けてどう感じているかという のが今後どうやって伝わっていくのかなという思いはあ って、多分事の起こりからして文脈が合わない気がして いて、そもそもあのような問題が起こったことを、何 でそれが議会でするのかなというのが個人的には憤り を感じています。けれども、こういった場でも市民の 意見としてそれが多少届くのであればうれし かなというふうに思っています。</p>	<p>先ほど市政報告で報告しましたように、市立保育園の在り方を検討する条例が否決されました。廃園というものが進む中において、現在5園中2園が廃園したとしてもまだ3園残るわけですから、その3園について今後の役割と在り方をしっかりと市民を色々巻き込んで議論をすることが、今後の保育行政を良くしていくもの、市全体の保育の質につながっていくものだと私は考え、条例をご提案差し上げたところでした。しかし、10対12という、僅差で否決となり、議会のご理解が得られなかったということでございます。したがって、議会の意思として判断をされた以上、今の段階でそれをどう挽回していくか、みたいなお話については、同じやり方というか、やろうとしたことを何か違う手を使ってみたいことは議会意思に反するということにもなるのかなと思います。</p> <p>具体的には申し上げられませんが、市全体の保育の質の維持・向上のために何をすべきかということが一番大事なことで私は捉えていますので、在り方の検討はできない状況ですが、議会意思に反しない中で何を取り組むべきなのかということも、担当と検討を始めているところです。まず議会にも「今後こういうことをしていく」とか、「こういう検討を始めている」とか、共有した上で、市民の皆さんと同じタイミングで共有するという話になると思います。今はどうしていくかということを検討している段階というところで留めさせていただきます。</p> <p>—</p>
8	自治体DXの課題について	<p>より効率的に行政を進めていくという中で、施政方針の中 でもDXについて少し書いてあるのですが、具体的にスマート 市政への転換ということに対して、今見えている課題、も しくは、何か方向性としてこの一歩がある、みたいなお話 があれば教えてほしいです。</p> <p>DXも、いかに市民が楽に行政の手続きができるかという のは圧倒的に進むはずなので、小金井市自体が、一般的に見 て遅れているのであればむしろチャンスで、一気に変更でき るのであれば、間をすっ飛ばして改革できちゃうと思うので、 そんなことも含めて今後住みよいまちになってほしい など思っています。</p>	<p>まず、10月からシステムを変えたり、端末を入れ替えたりします。これまで打合せ・会議をするにも、結局みんな紙で打合せをしていましたが、パソコンを持って移動して会議をするとか、持ち運びができて、インターネットも使いつつ、端末をしっかりとツールとして使って仕事の効率化を図るというやり方になっていくと思います。それがまずは大きな起点になるかなと思います。</p> <p>市役所では使い方により端末が幾つかあったり、スケジュールがいまだに紙で共有されていて、リアルタイムで自分の予定が分からないということがありましたが、そのようなことも少しずつ解消されていく方向になるかとは思っています。</p> <p>そして、DXのアクションプランというものをつくりました。これまで全く何をどう進めていくかという明文化されたものがなかったものが、3月末にまとまりましたので、それに基づいてできることから始めていきます。また、ちょっと視点が違いますが、市公式LINEを始めます。あくまで、それは情報発信、住民の皆さんとのコミュニケーションというところが主眼ではあるものの、LINEを使っていろいろな申請ができる自治体も増えてきましたので、スマホを使っての申請であったりだとか、わざわざ行かなくてもいいという、そういうことを1個1個積み上げていく必要があるなというのは庁内でもいろいろな話をされていて感じているところでございます。今後、そういうことを検討していきたいというふうには思っています。</p> <p>—</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	新型コロナウイルスワクチンの子どもへの接種について	<p>ワクチン接種について、子どもへの接種については、最近でも接種後の死亡者が認定されたりとか、WHOでも追加接種は推奨しないというような発表も入っており、その中で乳幼児から4歳ぐらいのお子さんに打つというのはどうなのかなと思います。1年ぐらいでつくられた新しい注射なわけです、RMAという自分の遺伝子で組み替えてできたものなので、どうなのかなとすごく不安です。</p> <p>大阪の泉大津市の市長さんとかは、お子さんへの接種は接種券を送るのではなくて申請してきた方にだけ送るという方法を取られていて、市のホームページでもデメリットとメリットどちらも鑑みて慎重に接種の可否の判断をしてくださいということを市長さんが自ら言われていたりします。世の中メリットだけの報道がすごく多いということにすごく疑問を感じていて、デメリットの報道はほとんどないんじゃないかなということが多いと思うんですが、市民を本当にお守りいただけるということでしたら、デメリットもきちんと知らせていただきたいなと思っております。</p> <p>子どもたちは、今後何十年も生きるもので、1年足らずしか治験のないものを打って本当に安全なのかということとは分かっていないので、ぜひともきちんとデメリットの情報も提示していただければと思います。</p>	<p>コロナが広がってから、ワクチンがないことがずっと課題となっていたため、みんなで打とうという風潮ではありました。確かに重症化を防ぐデータがあったりだとか、色々なデータが出ておりますが、一方で副反応であったりだとか、お亡くなりになった方が全国でもいらっしゃるということもだんだん分かってきました。</p> <p>デメリットであるとか、情報をしっかりと出すということは大事だと思っております。泉大津市の取組は以前から言われておりましたので、市としてどうするかということについては、慎重に考えたところはありますが、しっかりと情報をできるだけ出すなどして対応していくことは非常に重要だと思っておりますので、貴重なご意見として受け止めさせていただきます。</p>
10	教育施設費用の使い方について	<p>小中学校のトイレの問題についてです。教育設備に関する予算が他の多摩の市町村と比べて7割しか使われていないというデータがあり、びっくりしました。他の予算の項目は大体一緒ぐらいなんですけど、トイレを綺麗にするための予算があるのであれば使ってほしいです。</p>	<p>教育費全体が、市民1人当たりで換算したときに、多摩地域で比較するとちょっと低い状況にあります。ただ、内訳を見ていくと、施設整備にかかるところのお金がちょっと少ないのではないかなという分析でした。これについては、補修とか改修とかっていうのもあるんですが、ハードの抜本的な対策、いわゆる建て替えとか長寿命化ということを今後進めていくことがもう少し計画的にできていけば、そこが低いということはないかなと思います。この間、大規模改修や耐震改修といった大きなお金を使っている長寿命化対策というのがずっとできてこなかったんだろうと思うのですが、ここで長寿命化計画というものができまして、一小的建て替えから始まり、順番に長寿命化として大きな取組をずっと進めていくことになりますので、日常的な不具合の部分の改修であったりだとか、そういうことも含めて、教育の設備というところについてはしっかりと見ていかないといけないなと思ってます。</p> <p>全体的な需要に対して出せる予算には限界がありますが、トイレの臭いの状況とかも含めて、清掃する回数を増やすとか、そういう予算は今年度措置されておりますので、少しずつ改善に向けて動いていきたいなとは思っています。</p>
11	高齢者スマホ教室について	<p>高齢者に向けてスマホの講座を色々なところがやっておりますが、ごみ分別アプリなど、アプリの使い方を全然伝えていないようなんです。せっかくスマホの話をするなら、講座をやるときには単純にこういうことをやりますよというだけをするのではなくて、小金井市だったらこういうところはよく見てくださいということをやしてほしいんです。各部門が横の連携を持ってDXということで協力し合うということをやっていただきたいと思っています。</p>	<p>せっかくスマホを使おうという案内をしているのであれば、例えばごみ分別アプリというものがあるから、皆さんこれをダウンロードして使ってみてくださいというふうに案内ができれば、スマホを日常的に使うきっかけにもなって、高齢者スマホ教室の成果が大きくなると思っています。これは貴重な情報ですので、しっかりと共有して改善していきたいと思っています。</p>